

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公開番号】特開2012-85866(P2012-85866A)

【公開日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2010-235731(P2010-235731)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0

A 6 1 B 1/04 3 7 2

G 0 2 B 23/24 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プログラムを記憶するプロセッサ記憶部と、前記プロセッサ記憶部に対してプログラムを読み書きするプロセッサ制御部とを備えるプロセッサと、

プログラムを記憶するスコープ記憶部と、前記スコープ記憶部に対してプログラムを読み書きするスコープ制御部とを備えるスコープとを備え、

前記プロセッサ制御部は、外部から第1のプログラムを読み込んで前記プロセッサ記憶部に書き込み、かつ前記スコープ記憶部に記憶されている第2のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込んだ後に、前記第1のプログラムを前記スコープ制御部に送信し、

前記スコープ制御部は、前記第1のプログラムを受信して前記スコープ記憶部に書き込み、そして前記スコープ記憶部に書き込まれている前記第1のプログラムを検査し、これによりエラーが見つかった場合には、前記プロセッサ制御部は、前記第2のプログラムを前記スコープ制御部に送信し、前記スコープ制御部は、前記第2のプログラムを受信して前記スコープ記憶部に書き込む内視鏡装置。

【請求項2】

前記スコープ制御部は、前記スコープ記憶部に書き込まれている前記第1のプログラムを検査し、これによりエラーが見つからなかった場合には、前記プロセッサ制御部は、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第2のプログラムを消去する請求項1に記載の内視鏡装置。

【請求項3】

前記プロセッサ制御部は、前記第1のプログラムを前記スコープ制御部に送信した後に、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第1のプログラムを消去する請求項1又は2に記載の内視鏡装置。

【請求項4】

前記プロセッサ記憶部は、第1の記憶部と第2の記憶部とを備え、前記第1の記憶部は

、外部から読み込まれた前記第1のプログラムを記憶し、前記第2の記憶部は、前記スコープ記憶部に記憶されている前記第2のプログラムを記憶する請求項1から3のいずれかに記載の内視鏡装置。

【請求項5】

前記第1のプログラムは、バージョン情報及び対応するスコープの識別情報を有し、

前記プロセッサ制御部は、前記第1のプログラムの前記識別情報が前記スコープの識別情報と一致し、かつ前記第1のプログラムの前記バージョン情報が前記第2のプログラムのバージョン情報よりも新しい場合に、前記第1のプログラムを前記スコープ制御部に送信する請求項1から4のいずれかに記載の内視鏡装置。

【請求項6】

前記第1のプログラムは、バージョン情報及び対応するスコープの識別情報を有し、

前記プロセッサ制御部は、前記第1のプログラムの前記識別情報が前記スコープの識別情報と一致し、かつ前記第2のプログラムの前記バージョン情報が前記第1のプログラムのバージョン情報よりも新しい場合に、前記スコープ記憶部に記憶されている第2のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込む請求項1から5のいずれかに記載の内視鏡装置。

【請求項7】

プログラムを記憶するプロセッサ記憶部と、前記プロセッサ記憶部に対してプログラムを読み書きするプロセッサ制御部とを有するプロセッサと、プログラムを記憶するスコープ記憶部と、前記スコープ記憶部に対してプログラムを読み書きするスコープ制御部とを有するスコープとを備える内視鏡装置の制御方法であって、

前記プロセッサ制御部が、外部から第1のプログラムを読み込んで前記プロセッサ記憶部に書き込み、かつ前記スコープ記憶部に記憶されている第2のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込むステップと、

前記スコープ制御部が、前記第1のプログラムを前記スコープ記憶部に書き込むステップと、

前記スコープ制御部が、前記スコープ記憶部に書き込まれている前記第1のプログラムを検査するステップと、

前記検査するステップにおいて前記第1のプログラムにエラーが見つからなかった場合に、前記プロセッサ制御部が、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第2のプログラムを消去するステップと、

前記検査するステップにおいて前記第1のプログラムにエラーが見つかった場合に、前記スコープ制御部が、前記第2のプログラムを前記スコープ記憶部に書き込むステップと、

前記プロセッサ制御部が、前記プロセッサ記憶部に記憶されている前記第1のプログラムを消去するステップとを備える内視鏡装置の制御方法。

【請求項8】

前記第1のプログラムはバージョン情報及び対応するスコープの識別情報を有し、

前記第1のプログラムの前記識別情報が前記スコープの識別情報と一致し、かつ前記第2のプログラムの前記バージョン情報が前記第1のプログラムのバージョン情報よりも新しい場合に、前記プロセッサ制御部が、前記スコープ記憶部に記憶されている第2のプログラムを前記スコープ制御部を介して読み出して前記プロセッサ記憶部に書き込むステップとをさらに備える請求項7に記載の内視鏡装置の制御方法。